

## 受託研究等(治験)審査委員会報告

### 令和5年度 第7回 横須賀共済病院受託研究（治験）審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	西暦 2023 年 11 月 17 日（金）16：30～17：00
開催場所	国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院 会議室 4
出席委員名	小林一樹、舛井秀宜、豊田茂雄、入岡隆、渡邊秀樹、坂下博之、大野直子、中山友見子、小林路子、上原麻子、難波真砂美、加藤あかね、神保妙子、高橋俊介、角尾弘美、松本喜美子
欠席委員名	夏目一郎、池内麻希、田崎達明
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題①MSD 株式会社の依頼による高リスク筋層非浸潤性膀胱癌を対象とした、MK-3475 の第Ⅲ相試験</p> <p>➢ 安全性情報等に関する報告（2 回分）について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>➢ 重篤な有害事象に関する報告書（3 回分）について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題②MSD 株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験</p> <p>➢ 安全性情報等に関する報告（2 回分）について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>➢ 治験に関する変更について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題③MSD 株式会社の依頼によるシスプラチニ不適応又はシスプラチニを拒否した筋層浸潤性膀胱癌（MIBC）患者を対象に周術期のペムブロリズマブ又はエンホルツマブ ベドチニ（EV）とペムブロリズマブの併用療法を検討する第Ⅲ相試験</p> <p>➢ 安全性情報等に関する報告（2 回分）について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題④ファイザー株式会社の依頼による転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした Talazoparib (PF-06944076) の第Ⅲ相試験</p> <p>➢ 安全性情報等に関する報告（2 回分）について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p>

	<p>➤ 重篤な有害事象に関する報告書について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑤ファイザー株式会社の依頼による転移性去勢感受性前立腺癌患者を対象とした Talazoparib (PF-06944076) の第Ⅲ相試験</p> <p>➤ 安全性情報等に関する報告（2回分）について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑥中外製薬株式会社の依頼による膀胱癌患者を対象とした MPDL3280A の第Ⅲ相臨床試験</p> <p>➤ 安全性情報等に関する報告について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑦アストラゼネカ株式会社の依頼による転移性ホルモン感受性前立腺癌を対象とした AZD5363 の第Ⅲ相試験</p> <p>➤ 治験実施状況報告書について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑧バイエル薬品株式会社の依頼による先行試験に組入れられた被験者にダロルタミドを継続投与する非盲検、単一群、ロールオーバー試験</p> <p>➤ 治験実施状況報告書について、治験の実施継続に関する妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑨アレクシオンファーマ合同会社依頼のユルトミリス®視神経脊髄炎スペクトラム障害に関する特定使用成績調査</p> <p>➤ 特定使用成績調査の実施について、妥当性を審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>①コパキソン皮下注シリンジ特定使用成績調査（全例調査）「多発性硬化症の再発予防」 ➤ 調査の終了について報告した。</p> <p>②IQVIA サービシーズジャパン株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象とした FYB203 の臨床試験 ➤ 治験終了について報告した。</p> <p>②次回開催日 2023年12月15日（金）16時30分～ 会議室4の予定</p>
特記事項	

以上、受託研究（治験）審査委員にて承認されました。

受託研究（治験）審査委員長 小林 一樹  
2023年11月20日